

昭和52年9月10日発行

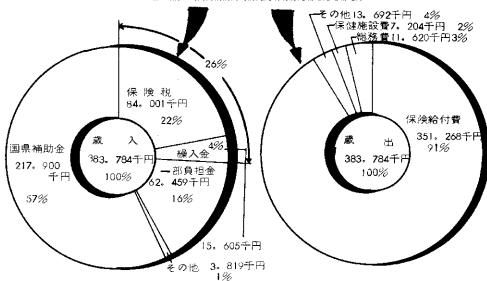
第 214 号

新潟県松代町公民館

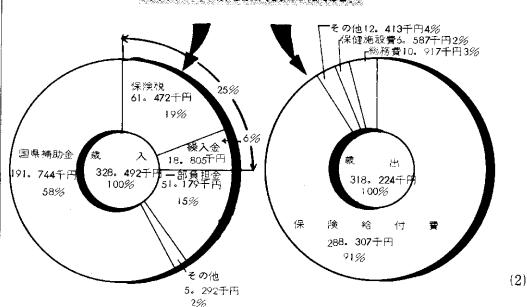
電話松代 7-2301番

印刷·松代印刷所

#### ⇔松代町国民健康保険の状況⇔



#### 昭和51年度決算の状況



# 昭和52年度予算の状況・

互. け 基合 本い でが

で 医 三保保 割険険 を証は 負を 担出お する し医 へ 者 Z لح E いのん うとに

基てん力保おなケ らかしなおわ町ら険て本いなで制ちとガ私度のか国 とこのは度いきをた 力 ど う う は る てて経 当国んま繰税保事いい少にんと済か ま う ₽ い 場 ら ら 合 す相で よく で互も 精り病 の負 な 神 ま気 あ 助担い私り的せに けを と達まなんな 合軽 きーす 不 。 安そた いく 人 をしみの国にんり

賄びか保 てら 国 さいの険国保てど とに業 。金国加に 入しし ど県 にのて費 よ補い用 っ助るは て金人 、夏ご

わらかれ医れかの者の ばの然のにす入 な保の補支 り険と助払 ま税と金う せをなも医 ん負が増療 。担らえ費 皆 まか てさず多

> 52 年度

玉 保 0

負

扣

国

保

**(7)** 

平均六万 世帯当 人当 平均 一万五千六百八円 円

負平世し千か見に十な高 るれ年 担均帯た四な込し二う額 ٢ 回は々 百けまて年も療 ۲ す一円世多らか千療 °万に帯額なら七費 五な平ない負百見 度医 千り均も保担方込 、にの険し円額 ーすと税でのは 八人るなはい巨 円当とり、た額総

のり一ま八だが額五伴・昇かる

でで を 変えない。 で、 を で、 を が が 増 が 増 制入るお大 〜医し の療受者で 実の診ざい 施無率んま 等料のにす に化上か

てん人で

る少きんめ

《稅》

療 費に 負 ょ 担 つ τ が き ま

医

わなまがてしいど件す国 。県物 の件事は 補費 業 助等を国 金の運の 等事営団 で務す体 ま費る委 かはた任 なほめ事 っとに務

けいりかいたま国費か保 でほまかたがすややら すどするだっ ´°医くて 保医療か国 税療費は保 の費の被税 負が多保を 担少少険ど もなに者の 軽けよの程 くれっ皆度 なばてさ納

は 被 保 な 険 つ た 者 日 か b

#### 昭和52年度の税率は下記のとおりです

	区分	本年度	割合	前年度	割合	地方税法で定める標準割合
応能割	所得割	$\frac{3.6}{100}$	40	$\frac{2.6}{100}$	40	40 %
割	資産割	$\frac{52}{100}$	10	$\tfrac{45}{100}$	10	10 %
応益割	均等割	6,000円	35	4,200円	35	35 %
割	平等割	9,800円	15	7,200円	15	15 %

くことのできない財源ですので必 は毎月の医療費を支払うために欠皆様から納めていただく保険税 皆様から納めてい

# 保険税は

昭和52年度郡内国保税負担状況

かめてわからない点がありましたりません。今一度納税通知書を確

務者であることには従来と変りあ

ことになりました。

しかし納税義

割額ともに算定の対象からはずす

所得割額•

資産

被保険者の資格

(国保以

法

改 正

		02 12411	,,,,,					
町木	寸名	平均世帯当り		平均1人当り				
浦山	原	<b>83</b> , 659	円	23, 811	円			
安	塚	75, 083		21, 512				
松口	り山	73, 982		21, 324				
4	女	70, 441		19, 182				
松	代	60, 000		15, 608				
大	島	52, 324		11, 194				

方

# 税通知書は 送付されます 年二回

が送付されます。 国保税は、毎年四月一日現在で 国保税は、毎年四月一日現在で が送付されますが、実際には、課税 が送付されますが、実際には、課税 が送付されますが、実際には、課税

#### 月 ?割課税 実施 が · 全面

施されます。 動についても行うよう動についても行うよう動についても行うようので月割課税は、昨年度の月割課税は、昨年度の月割課税は、昨年度 割課税が全面的に実行うように改正されて年度から一部異の異動があった場合の異動があった場合の異動があった場合の異動があった場合の異動があった場合 されます

6期 8期 9期 7期

- 。前年度の国保税額 を納期10の数で除 して得た額
- 。 6月に通知書を送 付し6~8月まで 納めて頂きます。

本年度確定税額から1期2期3期分を差引き 9月に通知書を送付します。これを4期~10 期の7回に分けて納めていただきます。

#### 2期 3期 5期 4期 10 期 9月 10月 11月 3月 12月 1月 2月

# 五年前と 比較

### 三倍近 医 *†*= 費

五十 一年度の 最高は

七月で した。

区 区 区 区 合 歯 入 人 計 診 科 診 院 診 院 療外療費  $\overline{H}$ 五 三四三 0 )〇万円 六万五<sup>2</sup> 千

゙°たこ ふ 五 年だは は一れ前け国 総年あのの保三、 額間が最一の 十いまり医 証 す約療で千 。 三 費か円 倍でか

作なく 七た 万だ  $\equiv \omega$ 

な当二九平千た 近っり十円均円保又く っております。 十九円、これも五年前より一人当りともに約二・四十九円、これも五年前より円 平均一人当り一万一千円 一世帯当り四万三千六百円です。 千百 四り 倍世二五十

松代町医療費のふえ方

# (最近5ヶ年間52年度見込)

#### 4億5千万円 4 億円 3億7千7百万円 3億5千万円 3億6百万円 3億円 2億6千6百万円 2億5千万円 2億2千7百万円 2 億円 1億9十4百万円 1億8千4百万円 (4)1億5千万円 47 48 49 50 51 52年度

# П

ょ

医療費

節

お医者さんの指示は正 の場合をのぞいて夜間往診依頼 しく守りまし 気はなる ょ う。 べくさけまし よう。

\* \* \* 簡単にお医者さんをかえることは禁物 で す。

お医者さんに薬をねだ るのはやめま ょ う。

**\* \*** 力を っ が病気 をは 12 かえす抵抗 力をつけましょう

診断 必ずうけ

# 衛 生シ ij ズ

# 調査

松代町食事実態調査表(三八四世帯

食生活改善推進協 議会の

ま世導たの も帯を の食 または のラれのび 群私でフ が け の集計 きで 会員 ح ی 0) 理 違 が中 を決 全 が る できま を頂と かのめ ま ぞさせた 一八四世帯である。 たかれ 品はま

> ショと海 なあの るれ よば食 草 まいり五 て認てり 事 すかま年微識おバ思 。とす間 力のり ラい中キ 自が、活はま ま ンまにム し ス す なかったのではありまれたのでは、かりまれたのでは、これのでは

(食生活改善推進協議会長高橋ハツ)で協力本当に有難とうだざいました。|っています。 会員 で 貨 様 員 きのが た健手 い康を と作と

	品			¥	2	₽	洋	3	2	‡	4	#	ŧ	5	Ħ	洋.	6	2	F
	類	緑代菜	<b>黄</b> 0	野		D他@ 以物	野		魚・豆			6・1 砂糖			海海			-・ リン 1・肝	
摂	1200 - 1100 - 1000 - 900 -				1084	1065	1152	1012	1025	1034	1122	1152	1152						
取	800 ± 700 ± 600 ±		499	539											474	470		625	<b>66</b> 9
量(単位	500 · 400 · 300 ·	402	100											423				) ; <b>;</b> ; ;	
67.	200								•••• ••••										

#### 食生活改善推進員名簿 氏 名 部 氏 名 松 代 若 ユキイ 犬 伏 Ш 本 キクノ 鈴 木 秋 子 クニ子 " 優 池 囲 美津子 おの島 柳 恵美子 田野倉 池 田 凊 子 χIJ 律 子 仙 室 岡 カヅ子 中 キョ子 $\mathbf{H}$ 代 村 ユツイ 良 子 满千子 Ш あざみ平 ミツイ /[\ 貫 小 Цı キクノ 丸 諏 訪 沢 シズエ 畑 喜枝子 寺 淳 子 山 宮 久 Ħ 年 子 名 井 良 ン $\nu$ 春 代 蒲 堺 春 枝 岸 子 尻 シズエ 山 谷 숲 ス 水 3 小 堺 タミ子 ネ 野 東 正 子 堺 子 小 子 凉 H 五十嵐 竹 登美子 シ 藤 よもぎ平 ノブイ 疍 佐 圭 牧 田 **ト** メ ナヲ子 믑 岸 康 江 岸 喜 Щ 木和田原 di 子 海 老 岸 許 " 左 藤 まさゑ 1/1 犬 松 ク =

	食	生活改善	協助員名簿	<b>J</b>			
部落	氏	名	部落	氏	名		
松 代	関谷	ミッ	片桐 山	柳	トユ		
"	高橋	ハッ	仙 納	室間	カヅ子		
小荒戸	山質	サワ子	田代	若 月	淳 子		
首 刈	相沢	俊 江	あざみ平	高 橋	キ イ		
"	柳	正了	小 貫	小 山	洋 子		
田沢	高 橋	キョチ	諏 訪 峠	中 沢	シズエ		
下 山	宮 沢	好	寺 田	井 上	ヒサヲ		
千 年	武 田	チョ子	"	井 上	征子		
"	関谷	タキ	蒲 生	小 堺	カツ子		
会 沢	五十嵐	米 子	"	山 岸	多美子		
桐山	桑 原	チサ	儀 明	小 堺	エク		
, ,,	桑原	智 子	福島	高 橋	良 江		
"	小 山	ツタエ	"	西 潟	都伊子		

ヒサエ

シズイ

子

チ

*奈* 室

良 立

濁

野

柳

村

若 Ш 頼 子

米 持 和 代

谷

若 井

沢 幸 子

百合子

珠 江

	食 生	主活改善	協助員名簿	•			
部落	氏	名	部落	氏	名		
松 代	関谷	ミッ	片 桐 山	柳	トユ		
"	高橋	ハッ	仙 納	室間	カヅ子		
小荒戸	山賀	サワ子	田代	若 月	淳 子		
菅 刈	相沢	俊 江	あざみ平	高 橋	キ イ		
"	柳	正了	小 貫	小 山	洋子		
田 沢	高 橋	キョ子	諏 訪 峠	中 沢	シズエ		
下山	宮 沢	好	寺 田	井 上	ヒサヲ		
千 年	武 田	チョ子	"	井 上	征 子		
"	関谷	タキ	蒲 生	小 堺	カツ子		
会 沢	五十嵐	米 子	"	山 岸	多美子		
桐山	桑 原	チサ	儀 明	小 堺	エク		
"	<b>季</b> 順	智 子	福島	高 橋	良打		

よもぎ平

もう地

犬

Щ

老

伏

若 # 爱

石 沢 乜 1

小 島

山 本

岸

小 屋 池 之 下

太 菅

生 助

改

員

0)

仕

事

12

つ

U

7

、は幼食作のの そ肉時生であの り健 あの衛 す る健生 から老人が望まり。つり 。食つ物 康 な動 を体 へまで と と れるい る を つ 人年わのと をの すぞると代けと °れ栄しにでれ とがに る て な従すた ますが、 °Ē

要と

を

する

年金手帽

20

い条養個公よ

ままがばお養を たうとまが、、りの多農物のでは、 で多が大まっく村物思 カラ変 にがいれ体か活 しり たある お必ま さン向 °いてい要 とが必 ねのは近は 7 してお ばと はな 15 ろそ なれて ろ りそ まれす い生おににかと り比ないか 思にまべ つ いはすれて栄量

っい負活食ら教 ててのの生 参 室 頂お方改活加を代 善改し おていり々 り引たまかを善てき ま続方すら進推頂 め進 き若昭 すいに °ては推そる員 :い和 主 47 さのか としれ皆 مح 協 何 を 会協助年しの て推食方ん栄 課力員も ををや頂進生にか養

> ゛ば ま

生をがれなるたと入呼済た一が同るや個なにれ、とらすば組入つ年時と成 °度務 ってわにやの が加責権 专 課 与の せえ仲 5 ら間

えれるれ合はで金に たばて一るなすす制義 ``い国いどべ 。年かわ厚国入任利大 害なに組度年各にもれれ入 者くはみに金種なそまるり 、が加を兵っのすとす

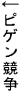
る こでなの こ病年ま民ず 大と気をす皆れい 黒がやと はし時柱無事る人金のゆ生です を理故との「年る年はる 備失にで働一の金公金20 C ええな障け生仕制的や才と ばる 収 んはこ 、れ入そにな

老いしっす動年部お国る る義 め金のよ民制 がわ後 でかて しし老 て制学び年度後 け身せ生 務い度生 ょお 後 そ金がを国 やう宅はがなでを配は、 み °は来り人在い偶他わ 0) 13 た者 のゆ体 年るのな 。ずやをあ金 まてに題 年 なのはで若と官 対る制 金任個 制 で人 度です。 たれる。として、ことをしてをして、ことをして、ことをして、ことをして、ことをして、ことをして、ことをして、ことをして、ことをして、ことをして、ことをして、こ い年えのな

## **2**回 ヘスポ 大 会

りの健康増進対策の一環とりの健康増進対策の一環といるもので、風船割り、ているもので、風船割り、イン喰い、輪投げ、ピゲンーンレース等の競技が行なした。 町内各地区より選手・応した。 大スポーツ大会でした。 大スポーツ大会でがが というでは、 といるもので、風船割り、王 といるもので、風船割り、王 はいるもので、風船割り、王 はいるは、町がお はいるは、町がお はいるは、町がお はいるは、町がお はいるは、町がお 

爆援 発団 Ø •

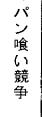






人口のうごき

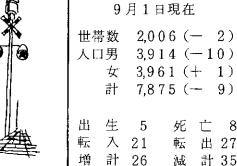
# 風船割り競争





# (死亡)

七八八 六八五九 五七七七一〇六三 オオオニオオオオ 才 奈室蒲 孟清海滝 お良野生儀 地水老沢 孟清海滝 お立じ宮安 はして おもいん 海倉 ん 協衛ば ん



八 月受付分 (受付順

戸 籍

の

窓

か

Ġ

おめでとうごけっこん

高橋勝美 室岡久喜 柳芙美子室岡秀子 莇 仙平納

ぬ森げ下

おめでとうおたんじょう

村山洋子母京子長女 相沢星子以鞍子長女 小松干惠子贷精子長女 草間妙子父が夫五 小沼恭子母順子長女 女 室野 松代奥村組 太平よねだ屋 室野わん 松代東建設 糀や

# たは見え 車は見えない 夜

# の全国交通安全運動はじまる の道①

運動期間 9月21日~9月30日まで

#### 運動 の 自的

のです。 ことを目的として実施さより、交通事故防止の海ルールの実践を習慣づけ生思想を普及徹底し、正年の運動は、すべての人 さ徹け正人 れるも凶に交通

# ●運動の重 点

歩行者 Ĥ 転 車 利 用 者、 17

> - 夜間における交通事故シートベルト着用の数子どもと老人の交通事 故推事 の進故

# ●運動のスロ ーガン

下化 さ雨 あ の り は た は見えなには見え にいて は夜も  $\mathcal{O}$ 十道 分でし

### お 上手に 酒と つきあいを 5

すの世酒で史 。酒界がは以酒 各飲紀 前と よでまぶ う国すど ジ ぞどう ププト 有 0 で有

れあれてま同アル きしルれが さているものではあれば一グラムは、薬ではあれば一グラムは、水ではあり すがり理麻 ことして親いる栄養源 七ま的酔 すと かけん用や °を睡 IJ 

# 体内でのア コ ル の

筋酸り分れの胃の 肉にま解ま大腸粘体 すさ す部管膜内 ·臓 器 り る わ と これアず肝 運血がセ ば中さトアにさでアル連れにらアル連れ吸ル \*入にルコばた収コ T っ分デ | れアさ | Cて解ヒルてルれル さドは分コ A 体 まは サ中れに酸解し す イの酢な化さル。胃

> でにク エ炭ル ネ酸と ルガい ギスう لح 代 と水に謝経 る分路 わ解に けさよ でれ、て ے °' 完 と 全

いはいろいろの形で現われます。の血中濃度が高くなるにつれ、酔ない人では違います。アルコールがありますし、常飲者と飲み慣れがありますし、常飲者と飲み慣れがありますし、常飲者と飲み慣れがありますし、常飲者と 無臓でのアルコール代謝は体重肝臓でのアルコール代謝は体重

## 中ア Ĵレ ル濃度

早さ とま動 にすしま0.40.30.20.1 素と異なる特徴です。 20.40.302 40.302 40.302 5で代謝します。これ で代謝します。これ で代謝します。 こん睡れ で代謝します。 には代謝時間 はた には代謝時間 はた には代謝時間 には代謝時間 には代謝時間 には代謝時間 には代謝時間 には代謝時間 には代謝時間 には代謝時間 には代謝時間 他とし早時死 の同たまやへ 栄じこり運

#### 0 は 食 べ て ベ

ク食おいむ塩なべく セベかっ、をくなな夕 。なずた塩のないる暮 胃いをふ辛せり人かれ にのい酒みをがすっな 悪は傾のそな合 T る う飲がきけなまたい えるなでめず近っ酒、あり人飲酒の頃さが 脳悪まほむを縁はいま 卒いすどと飲に少食ず 卒いす

## 交通のきまりを 守りましょう

はしない。

◎わき見運転など無暴な運転 ◎酒酔い運転はしない。 ◎歩行者も、きまりを守りま

すン中 °B1 や 欠ア にコ よし る) 性 の脚 原気 因心 K なピ しよう。 りタ 3

ま

も に ま 出 ず ょ前な す分牛乳飲 。は乳 アは本こ ル胃飲 壁をといる。 コ

もあ にラ納日へ削り 削か。 がは に がす さ蛋 か白せあが酒でガ 冷大し良

うやけ を全ま Ą す 質もるて

# 0 ۲ お

上「してけコ飲よはこラ 手ビまアる | むうあの飲お を |で吸すスせは飲飲 みの悪 方後酔が。にに含。まただ できないが。 す、をすが、胃んとり 。お招っスガのでい感 `胃んとりい後 ٢ 酒きかのス中いう心かど をまり刺がにるのしい こすま激拍あ飲はたいルや っよをア物ことすっ てっかルをのでがし れ から

な入切立なレ練皆

な を 一 囲 夜 日を過ごした。 ムプ いった。 なヤ ど健康



ンプフ 7 イヤ

及情を育てる と親

キャンプ・飯ごう炊さん





俳句

**"夏季雑詠** 

千年

茶

水

なしのなら花火

待

0

# 道行進曲 11

Nきちらす マー年 マーチ マーチ の でく はさかな

小 池 馬場行道

茂る草木-桜る草木-世名に負む 元年と郷に開て郷の降臨するなびき伏りの降臨する 開しれて ば

悪姫山の眺まなびく雲霧か 電鳳山の夜明ける からりと晴 0) あ 鐘 12 れて

三 浦沢 流石 日本海へとれている。日本海へとは、日本海にこだましている。 そし清 ゝて水 なり

땓 洋 々命に おはの聞 Wどらん近してなき土間いた穀倉 し婦わ 錦池れ 鯉にし

<u>†</u>1 待 声 に の望は野の三五三 高きけに し ば



(8)